

2021年 商業科の取り組み 3

コンテストや検定試験で活躍した生徒を紹介します。また、ビジネスデザインでは今年も大学の先生にオンライン講義をしていただきました。

地元再発見コンテスト最終審査会

審査員特別賞受賞

千葉商科大学が主催する地元再発見コンテストの最終審査会にマーケティング受講者の3年生が出場しました。全国149名から選ばれた5組により、北は青森県から、西は岡山県まで、地元の魅力を再発見するためのアイデアが発表されました。

今回生徒が取り上げたのは小机城址でのイベント時に小学生から大学生までのボランティアを活用して地域の商店街の活性化を図るプランです。講評では、幅広い人材を活用したプラン

であること、都会の中にある小机城址という観光資産を取り上げたことなどが評価されました。課題は「表現力」ということで、発表する力や発信する力をつけていくことの重要性を改めて感じることができました。



オンラインで発表する難しさもありました。



日商簿記検定2級合格

快挙！独学で頑張りました

夏休み明けのCBT形式の試験で3年生の生徒1名が日商簿記検定2級に合格しました。原価計算や財務会計の授業がここ数年成立しておらず、みなと総合から2級の受験者はいませんが、今回合格した生徒は2年次に選択した簿記の授業以外は、独学で今回の合格を手にしました。工業簿記はまさにゼロからの挑戦であり、商業簿記の部門も連結会計など難しい範囲を夏休みに集中して取り組んだそうです。

夏休みの税理士事務所でのインターンシップも刺激となり、今回の合格で大学入試の出願条件を手に入れることもできました。

ビジネスデザインオンライン講義

学校紹介フライヤーの作成

公立展などのイベントで中学生に配布するフライヤーを作成するにあたり、今年も千葉大学の片山先生に、「やってはいけない、こんなデザイン」と題して、タイポグラフィやレイアウト、配色などのダメな例からデザインの基礎をオンラインで2回にわたり講義していただきました。今年は、過去のみなと総合生作のフライヤーから受ける印象などについても取り上げ、生徒は課題に取り組みました。

